



地域観光を考え、学び合う！観光交流ネットワークミーティングの様子 2020.2.5

B2 ニュースレター

2020/3/31

～次回の協会主催イベント～

黒松内岳山開き

新型コロナウイルス感染拡大に伴う

観光への影響

新型コロナウイルスの感染拡大の影響が世界規模となり、もはや北海道の旅行市場だけでなくグローバルな実体経済にも波及しています。日本政府は3月9日から中国、韓国からの入国を制限する措置を開始。これにより、訪日外国人消費額では1位、2位だった両国の旅行者はしばらく姿を消すことになりました。また、3月21日からは欧州など38カ国からの入国者に待機要請などを決定しています。

北海道ではインバウンド需要が年々高まり、中国、韓国をはじめ東南アジアからの団体旅行客を中心にツアーの受け入れ、スキーリゾートへの長期滞在、大型イベントに合わせた来道者などで集客数は右肩上がりの成長を遂げてきました。

日本経済新聞の調べによると、北海道では1月から6月までの観光消費が2千億円以上落ち込むと予想していますが、それ以上の落ち込みも懸念されています。当法人でも海外客からのアクティビティや宿泊型体験交流の6月末までの予約が、全てキャンセルや延期となってしまう、夏以降も厳しい状況が続くかもしれません。しかし、地域の観光従事者、飲食店、個人商店、案内人、会員の皆さま、行政機関と知恵を出し合って苦難を乗り越えなければと考えております。（事務局・本間）

新型コロナウイルス感染症に伴う観光への影響

- 中国人観光客の個人旅行の減少（自主的なキャンセルも発生している状況）
- 中国以外の国・地域からのインバウンド減少（WHOの緊急事態宣言等の影響）
- 風評や自粛ムードによる国内旅行の減少
- 中国の団体旅行等の禁止措置の長期化
- 事態終息後の観光需要回復の遅れ など

北海道経済部観光局観光政策グループの調査結果より抜粋

フットパスクラブ通信 Vol.4

今回は黒松内フットパスクラブ会員、松見さんに黒松内に来てから今までの自然散策やフットパス歩きについての思いを寄稿していただきました。 ページ2

じり通信 No.15 文：山本竜也

2010年の春、残雪のなか黒松内作開にある大金鉱山跡地に散策にでかけた筆者が出会ったものとは…。 ページ3

【美一】Beech Girls Vol.7

今回はALTのシェリーさんです。色々聞きたいことがあってもなかなか英語で聞けなかった！という方のために(!?)色々ときいてみました。 ページ3

NAGI'S キッチン 文・写真：田村渚

今年最後にご紹介するのはじゃがいものニョッキです。クリームチーズのソースでいただきます。 ページ4

<<次回の協会協力イベント>>

青空マルシェ

5月2日(土)～6日(水/祝) ※予定
昨年引き続き今年のGWも商工会と観光協会の共催で行うイベントです。

黒松内岳山開き

5月31日(日) ※予定
次年度最初の主催イベントは毎年恒例の黒松内岳山開きです。また近くなりましたらチラシなどでお知らせし、参加申込を受付いたしますので続報をお待ち下さい。

フットパスクラブ通信 Vol.4 伝えたい黒松内の森

文：黒松内フットパスクラブ 松見 淳子 / 写真：黒松内フットパスクラブ 富田 キクエ

「黒松内といえばブナ林だよ。歩いてみて、すごく良いから！」

この町へ引っ越す事が決まった時、登山仲間にブナ林歩きを強く勧められた。家の片付けも落ち着いた頃、早速ブナ林散策のイベントにワクワクして参加した。今まで登ってきた山とは違った癒しの森。草花やブナの木についてガイドさんが丁寧に説明してくれる爽やかで楽しいひと時を味わえた。



近所から参加していた方と親しくなり「他のフットパスコースもオススメ！」と教えてもらい、数日後に

案内していただいた。自然の家から裏に降りて行く森林公園コース。そこで初めて見た景色は、今でも忘れられない。「うわぁ！！」と思わず声が出る素晴らしさ！丘一面にカタクリやキクザキイチゲ等のスプリングエフェメラルの花々が続くまるで絵画の中の一部なのではないかと思うほどの景色。カタクリがこんなに群生している所がある事にも驚いた。さらにブナ林の清々しい空気に歩きやすく整備された小道と、とにかくすべてが満足。

でも・・・??他に歩いている人がいない。熊は怖いけど、それ以上にこんなにも素晴らしい森のコースを知らない人が多くいる事に正直「勿体ない」と思った。「わたしも誰かにこの場所を伝えたい」、そんな時にボランティアでフットパスクラブがある事を知った。ボランティアになれば別のコースも歩いて友人知人もできる、そして、何よりも町外からの参加者に自分のお勧めの場所を伝えられる。二年前、秋のグルメフットパスが開催され『黒松内=美味しい食べ物が多い』のイメージ通り町内のお菓子や農産物、ハーブティー等お腹いっぱい味わった。

北斗市から参加した黒松内ファンの女性と意気投合し、イベント終了後一緒に森林公園コースを散策し、冬のフットパスでは室蘭やニセコからの参加者とも登山の話で盛り上がった。黒松内の自然を通して町内の登山愛好家の方のもとより、町外にまで登山の交流の輪は広がった。

フットパスクラブでは定期的な会議も行われている。クラブ会員が次のイベントに向けてコースを選択しプレゼンをする。様々な意見が飛び交う事もあるが皆「イベントを成功させたい!」「参加者に楽しんでもらいたい!」と言う気持ちがこもっていて、そこに自分もクラブの一員として参加させてもらえることが嬉しくて、魅力的なものになるまで一緒に考えていく。昨冬大好評だった分水嶺を歩くかんじきフットパスが今年は新型コロナウイルスの影響で中止となった。参加予定だった仲間もガッカリ。今まで何度も話し合いを重ねてきたクラブ員も肩を落とした。しかしまた来年の楽しみができた!まだまだ新しいコースの発見がありそうな黒松内。もっと多くの方にブナ林が生み出した自然を体感してもらいたい。

～令和2年度イベント予定～

太字が観光協会の主催・共催イベントです。

<p>5月</p> <p>2日～6日 GW 青空マルシェ</p> <p>31日(日) 黒松内岳山開き</p>	<p>9月</p> <p>シルバーウィーク青空マルシェ</p> <p>26日～27日 フットパスイベント</p>
<p>6月</p> <p>ブナ林ウォーク宿泊パック(自然の家)</p>	<p>11月</p> <p>新そばまつり</p>
<p>7月</p> <p>ビーフ天国</p>	<p>1月</p> <p>かんじきウォーク宿泊パック(自然の家)</p>
<p>8月</p> <p>7日(金) 地域づくり講演会</p> <p>8日(土) フットパスイベント</p>	<p>3月</p> <p>7日(日) 冬のフットパスイベント</p>

じり通信 No.15 雪中コウモリ 文：山本竜也

平地の雪は消えたが、山の上はまだ白い。2010年（平成22）5月18日、黒松内町作開の大金（おおがね）鉱山の跡地探索に出掛けた。戦前は北海道を代表する金山であったが、1955年（昭和30）に閉山し、もう55年になる。痕跡が残っているだろうか。精錬所跡から山に入り、ササの藪を漕ぎながら標高を上げる。奥に入るにしたがって、ササの密度は薄くなる。かつての道の跡に雪が残っており、歩きやすい。ふもとから1時間ほどかけて平坦地にたどり着くと、鳥の鳴き声と風の音しか聞こえない山奥なのにコンクリートの基礎や石垣などが点在している。ここに人が暮らし、働いていたことを実感した。



帰りは、おなじ道を下るだけである。気楽な気持ちで歩いていると、雪の上に落とし物を見つけた。茶色くて丸くて毛が生えている。「ネズミ？ いや、コウモリか！」死んでいると思ったが、そこだけ雪が丸く融けている。体温があるらしい。拾い上げると、ぴくぴくとわずかに動く。眠っているようだ。いじりまわしているうち、だんだんと動きが大きくなる。そして羽を広げ、パタパタと飛んでいった。

帰宅後にネットで調べると、これはコテングコウモリといい、雪の上で寝ているところを時々登山者などに発見されるらしい。平川浩文・長坂有「Evidence for Ussurian tube-nosed bats (*Murina ussuriensis*) hibernating in snow. (コテングコウモリが雪中で冬眠している証拠)」(2018)によると、多雪地に棲むコテングコウモリは雪のなかで冬眠し、長いものでは半年以上も過ごす。呼吸や心拍はほぼ停止させて、エネルギーを節約しているらしい。積雪の底近くにおいて、雪がなくなる直前に残雪上に現れるというから、私が発見したのは冬眠明け間近のコテングコウモリだったのだ。

こんなコウモリは、見つけたくて見つけられるわけではなかろう。毎年、春になると、山菜を求めて山を歩く私でも、見つけたのはこの一回きりである。ヒグマとの遭遇は10回ほど、エゾシカの角を拾ったのは5回ほど、それらよりはるかに難易度が高い。10年たった今も忘れられない出会いである。

【美一】 Beech Girls Vol.7 今回はALTのシェリーさんです。

Q 1, What kind of girl when you were little?

(子供の頃はどんな子でしたか?)

A 1, おしゃべりで協力的。好奇心があって、歌ったり踊ったりしている子供。

Q 2, Where is your favorite place at Kuromatsunai?

(黒松内のおすすめスポットを教えてください。)

A 2, 歌才自然の家のレストランキリカ。おすすめのメニュー Shelly's special. (生姜焼きにシェリー限定スペシャルソースとサラダ、スープ、茹でたじゃがいものセットだそうです。)

Q 3, Where do you want to go on trip? (旅行で行ってみたい場所は?)

A 3, 沖縄、トロピカルフルーツ等があってジャマイカに似ている。

あとはアフリカの自然と動物や、オーストラリアのグレートバリアリーフ。

Q 4, Where is the recommended place at your birth place? (出身地のおすすめの場所を教えてください。)

A 4, Devon House (デボンハウス) というアイスクリームショップ。味のバリエーションが豊富です。

Q 5, Please let us know how do you feel living at Kuromatsunai. (黒松内に住んで感じたことを教えてください。)

A 5, 黒松内は色々な気づきを与えてくれる町です。1つの組織で皆がチームワーク良く働いている。スーパーなどで知り合いに会うと英語がわからない人でも笑顔で声をかけてくれ、優しくいろいろな事を教えてくれる。

Q 6, What are your special skills? (特技はなんですか?)

A 6, バドミントンが好き。ハイスクールでやっていました。



Shelly-Ann Monique Stephenson さん

1991年3月8日生まれ/O型

ジャマイカのSt.Andrew出身

家族構成：父、母、姉、弟の5人家族

編集澤田から一言：今回はALTのシェリーさんにインタビューしました。シェリーさんも黒松内に来て2年。

もう立派なBeech Girlではないでしょうか？町で会ったら積極的に話しかけてあげてください。

アドベンチャートラベルミーティングに参加して



世界的なアドベンチャートラベル（以下 AT）への注目の高まりを受け、北海道観光振興機構のアドベンチャートラベル受入推進事業の一環として令和2年1月17日に函館アリーナにて北海道アドベンチャートラベルミーティングが開催されましたので参加してきました。

ATとは、釣りや自転車などの身体的活動、クルーズや野生生物観察などの自然活動、文化体験（北海道の場合はアイヌ文化や縄文文化など）等の異文化体験の3つの内、最低2つを含む旅行形態のことを言います。現在北海道の旅行者はアジア圏からの旅行者が圧倒的に多い状況ですが、ATは欧米人に人気が高く、

ATの推進は欧米人の旅行客の増加や旅行者の滞在時間の延長、消費額の増加に効果があるのではと考えられています。本町でも海外からの来訪者を積極的に受け入れています。消費単価、滞在時間はここ数年横ばいで、これらの増加が今後の黒松内観光の課題です。

今回のセミナーではAT推進に役立つと思われる公式なガイド資格である北海道アウトドアガイド資格についてや、ATを行う上での安全管理についても理解を深めてきました。

黒松内にもブナ林、朱太川でのアクティビティや食文化の体験などATの舞台となりうる豊かな自然や体験交流が多くあるので、ぜひそれらを今以上に活用し、集客につなげていきたいと思えます。（事務局・澤田）

NAGI'S キッチン



今回は、「じゃがいも」。

いつものジャガイモメニューの中にぜひ今回のジャガイモニョッキも加えてください。

☆ジャガイモニョッキ☆



材料（2人前）

～ニョッキ～

- ・じゃがいも…2個
- ・強力粉…100g
- ・塩…小さじ1/2
- ・オリーブオイル…大さじ1
- ・ベーコン…50g
- ～チーズソース～
- ・クリームチーズ…50g
- ・牛乳…50cc
- ・バター…10g
- ・仕上げ用黒コショウ…適量

作 り 方

- ①じゃがいもは皮をむいて1cm幅に切る。鍋にジャガイモが浸るくらいの水を入れ、煮立ったら弱火で10分程柔らかくなるまで茹で、熱いうちにつぶす。
- ②潰したじゃがいもに強力粉、オリーブオイル、塩を加えてよくこね、まとまったら丸く成形して、フォークを押し付けて模様をつける。
- ③鍋にたっぷりのお湯を用意してニョッキを中火で茹で、浮いてきたらそのまま2分茹で、ざるにあけて水気をきる。
- ④チーズソースを作る。フライパンにクリームチーズ、牛乳を入れて中火で熱し、チーズが溶けたらバターを加えて混ぜる。
- ⑤ベーコンは、こんがりとなるように焼く。

☆じゃがいも豆知識☆

じゃがいもには、意外とビタミンCがたくさん含まれています。

ほうれん草やミカンと同じくらいの量で、しかもでんぷんで守られているので、加熱しても壊れにくい。ビタミンCは風邪の予防や疲労の回復、肌荒れなどに効果があります。免疫力をアップさせたいこのご時世には最高の野菜ですね！

以上、豆知識でした。

観光協会 HP にて「B2」バックナンバーがご覧になれます。 www.bunatatourism.com

印刷版をご希望の方は観光協会までご連絡下さい。

発行人：一社) 黒松内町観光協会 発行日：2020年3月31日 次回発行予定は6月末

TEL/FAX：0136-72-3597 MAIL： bunatatourism@gmail.com